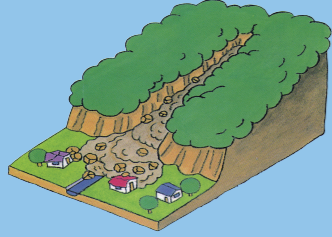


# 「日頃の備え」と「早めの避難」いのちを守る防災情報

土砂災害の危険から身を守るのはあなた自身です。家や職場の周囲がどのような地域であるかを知ることは、危険回避の第一歩です。災害時に備え適切な行動がとれるよう自宅から避難所までの経路等を確認し、危険を感じたら自主的に避難を始めるよう心掛けましょう。

## 土石流



**土砂災害特別警戒区域**  
建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

**赤色表示区域**

**土砂災害警戒区域**  
土砂災害のおそれがある区域です。

**青色表示区域**      **緑色表示区域**

## がけ崩れ



### ▼こんなときは注意しよう

- 山鳴りがする
- 急に川の流が濁り流木が混ざっている
- 雨がふり続けているのに川の水位が下がる
- 腐った土の臭いがする



#### こんな所が危険です！

- ・谷川に大きな石がごろごろあるところ。
- ・裏山に急な谷川があるところ。
- ・過去に谷を流れた土石流が谷の出口のところに堆積してきた扇状地のところ。

### ▼こんなときは注意しよう

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がぼらぼらと落ちてくる
- がけから木の根が切れる等の音がある



#### こんな所が危険です！

- ・がけにひび割れが発生しているところ。
- ・がけの上部がせり出しているところ。
- ・急ながけで高いところ。
- ・がけから水がわき出したり、がけの表面が水が流れているところ。

## 町役場から発令される避難情報を理解しよう！

避難対象地区の住民も常に自ら情報を取得し、早めの対応を心掛けてください。

### < 避難情報等 >

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
<b>警戒レベル 5</b>	既に災害が発生または、危険が目前に切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	<b>緊急安全確保</b> ※2 ※2 必ず発令されるものではありません。 〔町役場から発令〕
<b>警戒レベル 4</b> <b>全員避難</b>	危険な場所から全員避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	<b>避難指示</b> 〔町役場から発令〕
<b>警戒レベル 3</b> <b>高齢者等は避難</b>	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>高齢者等避難</b> 〔町役場から発令〕
<b>警戒レベル 2</b>	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報</b> <b>大雨注意報等</b> (気象庁が発表)
<b>警戒レベル 1</b>	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

**町役場**      避難情報の伝達  
同報無線、ラジオ、市民メール、緊急速報メール、テレビなど

**避難対象の住民**

### < 防災気象情報 >

〔警戒レベル相当情報(例)〕

#### 警戒レベル 5 相当情報

氾濫発生情報  
大雨特別警報      等

#### 警戒レベル 4 相当情報

氾濫危険情報  
土砂災害警戒情報      等

#### 警戒レベル 3 相当情報

氾濫警戒情報  
洪水警報      等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

## 最新の情報を入手しましょう！

台風・大雨の災害時に備え、防災気象情報の入手方法を知っておこう

### スマートフォンやパソコンを使用する

- ・南伊豆町ホームページ    ・気象庁ホームページ
- ・サイポスレーダー (右記載)    ・静岡県防災アプリ (右記載)
- ・静岡県ホームページ ("静岡県の土砂災害情報"で検索！)

### テレビから情報収集

- ・テレビリモコンの「Dボタン」を押すと、データ放送が閲覧できます。

### 静岡県土木総合防災情報

サイポスレーダー (SIPPOS-RADAR)



県内の最新の防災情報を発信するインターネットサイト。リアルタイムの河川の水位・雨量・気象情報、洪水情報・土砂災害警戒などの防災情報を発信しています。QRコードよりご利用ください。PCアドレス <http://sipos.pref.shizuoka.jp/>

### 静岡県総合/静岡県防災 防災アプリ/静岡県防災



豪雨等による災害発生前の避難行動を促す各種緊急情報の通知をはじめ、平常時の災害への備えとして、ハザードマップの確認、防災知識の習得や避難トレーニングなど、災害から命を守るために、役立つ機能を幅広く備えたアプリです。※QRコードより総合防災アプリ「静岡県防災」サイトにアクセスできます。

**「避難」って何すればいいの？**

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

**行政が指定した避難場所への立退き避難**

自ら携行するもの  
・マスク  
・消毒液  
・体温計  
・スリッパ 等

小・中学校  
公民館

**安全な親戚・知人宅への立退き避難**

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

**安全なホテル・旅館への立退き避難**

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

ホテル  
旅館

**屋内安全確保**

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

----- 想定最大浸水深 -----

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

ここなら安全！

**普段からどう行動するか決めておきましょう**

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

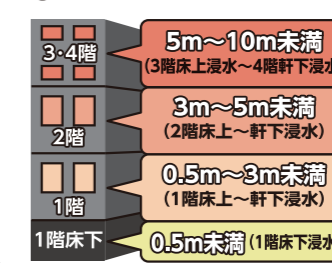
① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

② 浸水深より居室は高い



③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。